

報告書〔2〕 分析結果及びフローシート

2 全窒素

分析実施機関名	整理番号	*	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001~9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025 (ガイド25) 4. なし		
分析主担当者名	分析主担当者の経験年数			②	年	分析主担当者の実績(検体数)	③	検体

注1) 分析結果 (mg/l)	標準偏差 (mg/l)	測定回数 (回)
④	⑤	⑥

分析開始日	⑦	月	日
分析終了日	⑧	月	日

注1) 有効数字3桁で記入する。なお、2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。また、実施要領5(1)の希釈方法に従って調製した分析試料中の濃度を記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意してください。

< 紫外吸光度法 >

試料の適量 ③
↓
分解瓶 ④ (分解操作)
50ml
↓
水酸化ナトリウム-ヘキサフルオロリン酸カリウム溶液10ml
加熱 約120℃、30分間
↓
放冷
↓
上澄み液25mlを分取
↓
塩酸(1+16)5ml pH2~3
吸光度測定 220nm ⑤⑥

< 分析法等 >

分析法	① 1. 紫外吸光度法 2. 硫酸ビトランニウム還元法 3. 銅・カドミウムカラム還元法 4. その他()
-----	---

< 分析条件 >

試料量	③ () ml
分解瓶の種類	④ 1. 四ふっ化エチレン樹脂製の瓶 2. 耐熱・耐圧ガラス製の瓶 3. その他()
測定波長	⑤ () nm

< 硫酸ヒドラジニウム還元法 >

試料の適量 ③
↓
分解操作 (紫外吸光度法と同じ)
↓
上澄み液10mlを分取
↓
銅-亜鉛溶液1ml
硫酸ビトランニウム溶液1ml
加熱 35±1℃の水浴、2時間
↓
放冷
↓
4-アミノベンゼンスルホンアミド溶液1ml
放置 5分間
↓
二塩化N-1-ナフチルエチレンジアミン溶液1ml
放置 20分間
↓
吸光度測定 540nm ⑤⑥

< 検量線の作成 >

検量線	作成点数⑦() 範囲⑧()~⑨() 単位 ⑩ 1. µg(量) 2. mg/l(濃度) 最高濃度の吸光度⑪()
試料	吸光度⑫()
空試験	吸光度⑬()

< 銅・カドミウムカラム還元法 >

試料の適量 ③
↓
分解操作 (紫外吸光度法と同じ)
↓
塩酸(1+11)10ml
100ml全量フラスコに移す
↓
塩化アンモニウム-アンモニア溶液10ml
水
100mlとする(還元用溶液)
↓
還元 (Cu・Cdカラム)
↓
流出液
↓
10mlを分取
↓
4-アミノベンゼンスルホンアミド溶液1ml
放置 5分間
↓
二塩化N-1-ナフチルエチレンジアミン溶液1ml
放置 20分間
↓
吸光度測定 540nm ⑤⑥

< 分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点 >

水酸化ナトリウム-ヘキサフルオロリン酸カリウムによる分解について	-----
測定方法について	-----
分析全般について	-----